

令和2年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和元年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
 (3) 令和元年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業
 ※それ以外の事業は「令和2年度 事業調査結果B 国際交流分野」に掲載されています。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
 - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「事業概要」
 - ・事業概要
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
 - ・令和元年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業で得られた成果
- 「課題」
 - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
 - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
 - ・事業を担当する課

国際交流		(所管課)
【分野別目標1】 国際理解を育む機会づくり		
1	地域連携活動事業	アカデミー推進課
2	国際理解教育の推進	教育指導課
3	国際交流フェスタ	アカデミー推進課
4	英語観光ガイド	アカデミー推進課
5	JETプログラムを活用したCIRの導入	スポーツ振興課
6	ドイツ料理の日～ホストタウン給食キャラバン～	スポーツ振興課
7	文京クリスマスマーケット2019	スポーツ振興課
8	文の京再発見with国際交流員～ドイツの言葉と文化に触れる～	スポーツ振興課
9	姉妹都市等との交流	アカデミー推進課
10	海外都市との交流の活性化	アカデミー推進課
11	ホームステイ生徒交換事業	アカデミー推進課
12	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	アカデミー推進課
13	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミー推進課
【分野別目標2】 外国人が快適に過ごせる環境づくり		
14	文京区紹介映像多言語版の公開	広報課
15	外国人の日常生活支援のための多言語化	アカデミー推進課
16	通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	広報課
17	図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	真砂中央図書館
18	配布物の多言語化(スポーツ振興課)	スポーツ振興課
19	配布物の多言語化(リサイクル清掃課)	リサイクル清掃課
20	わかりやすいホームページの構築	広報課
21	わかりやすいまちの表示	区民課/道路課
22	防災対策での多言語対応	防災課

令和2年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標1】 国際理解を育む機会づくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 交流の機会の拡充														
1	68	交04-01	地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行う。	予算	93	当初予定数(定員等)	—	—	—	①能楽鑑賞会への招待(宝生能楽堂) 実施日:令和元年8月4日(日) 参加者数:10人 ②文京クリスマスマーケットにおける姉妹都市スタンプラリー 実施日:令和元年12月14日(土) 参加者数:約500人	—		
					決算	24	実績数	510人	—					
							申込数	—	—					
2	68		国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行う。	予算	91,324	当初予定数(定員等)	23人	—	—	外国人英語指導員(ALT)の配置を拡充している。	英語力の向上については、計画に基づいた成果が出ているが、実践においては、児童・生徒の英語を活用したALT以外の外国人との会話の機会が少ないことや、自分の考えをプレゼンテーションする力などに課題があり、コミュニケーション能力の育成が必要である。	児童・生徒のコミュニケーション能力の向上を図るため、さらなる外国人英語指導員の配置や他事業であるプレゼンテーションカリキュラムの実践を進める。	教育指導課
					決算	84,775	実績数	23人	100.0%					
							申込数	—	—					
3	43	交04-01	国際交流フェスタ	日本人と外国人が、日本や世界各国の様々な文化が体験できる、国際交流フェスタを実施する。	予算	2,358	当初予定数(定員等)	—	—	—	令和元年度の第14回文京区国際交流フェスタは、令和2年2月29日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	—	従来開催していた2月下旬から3月上旬の時期は、留学生が出国する時期に当たるため、今後は実施時期を変更する。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引いた場合は、WEBを活用した国際交流フェスタを開催する。	アカデミー推進課
					決算	1,087	実績数	—	—					
							申込数	—	—					
4	61	交04-01	英語観光ガイド	英語観光ガイドが、区内の庭園、寺社、文化施設等を外国人の方に案内し、各所の歴史や魅力を紹介する。	予算	62	当初予定数(定員等)	—	—	—	ガイドの協力で、参加者には好評を得ている。1日ごとの参加者は少ないものの、ガイドからの一方的な説明だけでなく、参加者からの質問に答える形で進めるなど、コミュニケーションを図りながら実施しており、参加者の満足度が高まっている。	参加者が年々減少している。また、ガイドも特定の人の活動となっており、モチベーションの維持、英語観光ガイド事業全体の活性化が求められている。	新たなツアールートの開発や観光事業との連携等、参加者にとって魅力的なツアー企画を検討するとともに、英語観光ボランティア連絡会を継続して実施し、ガイドとの意見交換及び情報共有を行う。	アカデミー推進課
					決算	3	実績数	15人	—					
							申込数	—	—					

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数							申込数
5			JETプログラムを活用したCIRの導入	区のドイツホストタウンの取り組みを進め、区民や職員に身近な国際交流の機会を創出し、東京2020大会を契機とした国際社会の実現の一助とするため、総務省・外務省・文部科学省が主催するJETプログラムのうち、国際交流員(CIR)を導入し、現地とのパイプ役とする。	予算	3,895	当初予定数 (定員等)	—	—	—	ドイツ料理の日に合わせ配布する「ドイツホストタウン通信」の編集・作成、ドイツ・ホストタウン区民ツアーへの同行、ドイツ文化講座の講師との調整、ドイツ語講座の講師を担った。	国際交流員(CIR)を中心としたホストタウン事業の推進により、区民の身近な国際交流の機会の創出に繋がった。また、ドイツ関係団体とのパイプ役として、様々な国際交流事業を進めることができた。	CIRが中途退職したため、事業が終了となった。しかし、引き続き、ホストタウン事業の推進だけでなく、区の国際交流活動の推進役が必要である。	CIRとしてではないが、新たにドイツ人職員を迎えた。本職員を中心に、区民の身近な国際交流の機会を創出する。	スポーツ 振興課
					決算	3,638	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
6			ドイツ料理の日～ホストタウン給食キャラバン～	学校給食に「ドイツ料理の日」を設け、食を通じて文化を体験する機会を提供する。	予算	903	当初予定数 (定員等)	—	—	—	学校給食でのドイツ料理の提供を学期に1回、年3回実施した。区立小・中学校の給食には、ドイツホストタウン通信を作成し、ランチョンマットとして配布した。ホストタウン通信では季節に即したドイツの文化・習慣・行事についての紹介を行った。	ドイツ人CIRが「ドイツ料理の日」に合わせて学校を訪問し、子どもたちと交流を図ることで、食や文化に触れるだけでなく、ドイツを身近に感じることができた。	子どもたちがランチョンマットを持ち帰ることを考慮して、家庭でもドイツ文化に触れることのできる紙面構成を検討する。	家族でドイツ文化に触れることのできるイベント情報等を発信する。	スポーツ 振興課
					決算	896	実績数	3回	#DIV/0!						
							申込数	—	—						
7			文京クリスマスマーケット2019	ホストタウンであるドイツの食をはじめとする様々な文化に対する知識を深めることで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成、国際理解の促成に繋げる。	予算	10,467	当初予定数 (定員等)	—	—	—	・令和元年12月13日から14日まで文京シビックセンター区民ひろば及び礪川公園にて文京クリスマスマーケット2019を開催した。当日はドイツからオリンピックを招き点灯式を行った他、区民ひろばでは東京2020マーケティングパートナーであるコカ・コーラとプリヂストンのブースを出展した。礪川公園ではドイツに因んだ文化や食が体験できるブースが多数出展し、両	区民に広くドイツの食や文化に接する機会を提供できた。区民ひろばのステージでは、ドイツ人オリンピックによるトークショーやオリンピック競技体験を行い、東京2020大会の気運と国際交流の「マインド」を醸成できた。	各関係団体との協力体制を継続するとともに、ホストタウン相手国であるドイツについても、引き続き様々な事業を通して文化や歴史、魅力等を発信する必要がある。	当初、東京2020大会終了後にドイツ人アスリートを招聘する事後交流イベントを企画していた。21年の実施に向けて計画を詰めていく。	スポーツ 振興課
					決算	12,608	実績数	17,100人	—						
							申込数	—	—						
8			文の京再発見！With国際交流員～ドイツの言葉と文化に触れる～	ドイツ人国際交流員とともにドイツの言葉や文化に触れ学びながら、文京区を再発見する機会を創出し、区民の身近な国際交流を促進するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた更なる気運醸成を図る。	予算	2,389	当初予定数 (定員等)	—	—	—	・ドイツ語文法講座、会話講座を上半期、下半期に実施した。・月1回の頻度でドイツの歴史、食、文化等を紹介するドイツ文化講座を開講した。	国際交流員(CIR)を中心に語学学習や多様なテーマでドイツ文化を紹介することを通じて、区民の身近な国際交流の機会を創出できた。	一部のテーマでは、定員を上回る申し込みがあり、受講できない区民が生じた。	引き続き、ドイツ語講座、ドイツ文化講座を実施し、過去定員を上回ったテーマについては今後も講座を実施する。	スポーツ 振興課
					決算	2,199	実績数	495人	—						
							申込数	—	—						

【基本的な方向性(2)】 海外都市との交流の活性化

9	69	交02-03	姉妹都市等との交流	海外都市との交流を活性化し、区民の国際理解を育む。	予算	15,206	当初予定数 (定員等)	—	—	94.0%	【カイザースラウテルン市】 ドイツ・ホストタウン区民ツアー(5泊7日)を実施 参加者23人(公式訪問団5人、区民18人) ①カイザースラウテルン市訪問(首長会談、文京区立肥後細川庭園とカイザースラウテルン日本庭園による姉妹庭園の締結、歓迎会) ②フランス・ストラスブール市訪問 ③ベルリン市訪問(在ドイツ日本国大使館レセプション) 【北京市通州区】 令和元年10月29日 訪問団5名を派遣 友好都市提携に関する合意書を調印 【イスタンブール ベイオウル区】 令和元年11月18日 トルコ・ベイオウル区友好交流「デニズ・エルデンピアノリサイタル東京公演2019」を文京シビックホール小ホールで開催(入場者数:204名、文京区共催)	ドイツ・ホストタウン区民ツアーの参加者からは、「姉妹都市であるカイザースラウテルン市をはじめ、ドイツについて期待以上に知ることができた」と好評であった。また、肥後細川庭園とカイザースラウテルン日本庭園が、新たに姉妹庭園を提携し、今後の技術協力を約束した。通州区と友好都市として提携し、相互交流を深めた。	姉妹都市や友好都市との関係を更に強固なものにしていくため、住民間同士の交流のきっかけづくりが求められる。また、区民における姉妹都市等の認知度を向上させる必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外都市との交流が困難であるが、オンライン方式等の新たな手法及び多様なジャンルにわたる交流を展開していく。これまでの姉妹都市及び友好都市との交流実績を、展示イベント等を通して区民へ周知する。	アカデミー推進課
					決算	4,965	実績数	—	—						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数							申込数
10	69	交02-03	海外都市との交流の活性化	海外都市等との交流を活性化し、友好を深め、区民の国際理解を育む。	予算	15,206	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【駐日ベナン共和国大使館】 ①ベナン大使と中央大学工学部長との会談(文京区が仲介) 令和元年4月24日 ②駐日ベナン大使が区長を表敬訪問 令和元年5月24日 ③ベナン料理教室(中止) 【パリ大学区長ジル・ペクー氏との意見交換】 令和元年9月22日	区内唯一の駐日外国大使館であるベナン共和国大使館と区民との交流事業として、「ベナン料理教室」の開催を予定していたが、台風19号及び新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった。 また、「左岸の文教地区」という共通点があるフランス・パリ5区との連携に向け、同区に所在するパリ大学区の区長ジル・ペクー氏と意見交換を行い、新たな海外都市との交流につながった。	ベナン料理教室は開催直前で中止となったが、定員を超える多数の応募があったため、改めて実施を検討する。	ベナン料理教室は、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、実施を検討する。 また、海外都市は、新型コロナウイルス感染症により直接的な交流が難しいこともあり、引き続き、交流推進に向けた情報交換等に努めていく。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
11	69	交02-03	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市カイザースラウテルン市との交流事業の一環として、中学生、高校生の派遣・受入を隔年で実施する。(2年で1サイクル)	予算	1,152	当初予定数 (定員等)	4人	—	—	カイザースラウテルン市へ生徒の派遣(4名) 令和元年8月5日(月)から8月19日(月)まで(15日間)	生徒同士のみならず、家族間での交流が行われており、カイザースラウテルン市での15日間の生活を通して、ドイツ文化・異文化理解が深まった。	左記の成果を、より多くの区民にいか還元していくかが課題である。	ホームステイを実施した生徒が、カイザースラウテルン市の見所や、ドイツの文化を広く区民に周知できる機会を提供する。	アカデミー推進課
					決算	991	実績数	4人	100.0%						
							申込数	—	—						

【基本的な方向性(3)】 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

12	70		区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業の後援等により、情報を広く発信する。	予算	0	当初予定数 (定員等)	—	—	—	①外国人専門家相談会(6月)の共催(主催:ぶんきょう多文化ねっと) ②区内ボランティア団体が実施する日本語教室の周知 ③区内大学が実施する国際交流講座の後援	区内在住外国人が、通訳同席のもと、法律相談等の専門的な内容を無料で相談できる機会を提供することで、問題解決の一助となっている。	新型コロナウイルス感染症の影響で、相談会等の開催が難しい可能性がある。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談は、都や国等の窓口(TOCOSなど)を、区HP等で周知する。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
13	70	学01-02	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催する。	予算	生涯学習 整理No.1	当初予定数 (定員等)	710人	—	84.0%	・文京アカデミア講座 24講座 [語学4講座、外国文化・歴史15講座、外国人おもてなし英会話5講座] (受講者712人 定員710人 応募者1,140人)	語学、外国文化など幅広い分野の講座を提供できた	多様化する受講者のニーズを踏まえた講座を提供する必要がある。	最新の話題を的確に把握するとともに、生涯学習支援者や区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画する。	アカデミー推進課
					決算	生涯学習 整理No.1 の範囲	実績数	712人	100.3%						
							申込数	1,140人	160.6%						

令和2年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標2】外国人が快適に過ごせる環境づくり

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(1)】 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進															
14	71		文京区紹介映像 多言語版の公開	区の内外に向けて文京区を紹介し、多くの人に訪れてもらえるように区の魅力を広く周知するため、区紹介映像「ようこそ文の京へ」(約12分)。英語、中国語、ハンガール版を作成し、ホームページでも公開している。	予算	1,507	当初予定数 (定員等)	—	—	区紹介映像「ようこそ文の京へ」については平成24年度に完成した映像を、引き続き、ホームページにおいて公開している。平成30年度に制作した文京区公式PR動画「文京区～つながりがみつかるとまち～」については英語、中国語、ハンガールの字幕版を作成し、YouTubeチャンネルで公開している。	海外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっている。	より多くの人に見ていただくことが必要である。	引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っていく。また、露出の機会を捉えて働きかけを行う。	広報課	
					決算	854	実績数	—							
							申込数	—							
【基本的な方向性(2)】 外国人の生活・滞在に対する支援															
15	72		外国人の日常生活 支援のための 多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を行う。	予算	1,384	当初予定数 (定員等)	—	—	庁内各課が作成する行政文書等を多言語化する。 税務課:特別区民税・都民税/軽自動車税 証明書交付申請書 高齢福祉課:「こんにちは高齢者あんしん相談センターです」 国保年金課:督促状 管理課:自転車保管所案内ほか みどり公園課:肥後細川庭園リーフレットほか 教育総務課:PTAとは 学務課:運動器健診保健調査票ほか 児童青少年課:育成室のご案内ほか	庁内各部署が作成する行政文書の翻訳を継続することで、外国人住民の利便性に資するとともに、窓口業務の円滑化に役立っている。	納期については、これまで当課で一律に設定していたが、各課からの要望に応じ、一部納期を早めることや、現在対応している言語(英・中・韓)以外の外国語等にも対応していく必要がある。	各課からの要望のもと、早期の納品及び英・中・韓以外の外国語の翻訳に対応する。 また、令和元年度に、やさしい日本語のニーズについて庁内で調査を実施した際、大きな要望のあった課はなかったが、引き続き、やさしい日本語の周知及びニーズ調査を行っていく。	アカデミー推進課	
					決算	788	実績数	—							
							申込数	—							
16	72		通訳クラウド サービス活用による 外国人相談 等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行う。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行う。	予算	1,568	当初予定数 (定員等)	—	—	広報課では通訳タブレット3台の契約とポケット5台を設置しており、行政情報センターを訪れた外国人相談者に対し、区民相談員が通訳タブレットを使用して相談業務を行う。また、ポケットを各所管課に貸出し、外国人住民対応時に利用している。	外国人相談24件のうち、2件は通訳タブレットを使用した。また、通訳タブレットの他課への貸出件数は263件だった。	軽微なことであっても、外国人住民の問い合わせや相談ができる窓口として周知していく必要がある。	引続き、区民相談の通訳タブレットとポケットとして配置し、各所管課への貸し出しも行っていく。	広報課	
					決算	1,185	実績数	263 件							
							申込数	—							
17	72		図書館における 外国語の新聞・ 雑誌の提供	区立図書館で、英語、中国語、ハンガールなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入して、閲覧や貸し出しに対応する。	予算	0	当初予定数 (定員等)	—	—	外国語新聞8紙、雑誌15タイトルを購読。 英語・中国・ハンガールの図書を中心に、フランス語・ドイツ語・スペイン語など、様々な言語の図書を収集している。	図書館を利用する外国人の方や、外国語を勉強する方に対して、幅広いサービスの提供をすることができている。	外国語資料を所蔵している事の周知が不足している。 図書館の利用案内の多言語化が進んでいない。	PR方法を検討するとともに、ホームページ・利用案内の多言語化を進める。	真砂中央図書館	
					決算	0	実績数	—							
							申込数	—							
18			配布物の多言語 化(スポーツ振 興課)	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内について、それぞれの施設窓口で配布。(経費は指定管理者が負担)	—	—	—	スポーツ振興課	
					決算	—	実績数	—							
							申込数	—							
19			配布物の多言語 化(リサイクル 清掃課)	「ごみと資源の分け方・出し方」の日本語版、英語版、中国語版、ハンガール版を作成して配布。	予算	193	当初予定数 (定員等)	6,000 部	—	年1回発行 【配布場所】 リサイクル清掃課、清掃事務所、戸籍住民課	区民に広くごみの排出方法を周知することができ、適正排出に繋がることができた。	紙面に対してイラストや文字が小さいため読みづらいといった課題がある。	より見やすいレイアウトの検討や、紙面からHPに掲載しているデータ版への誘導を行うなどの見直しを行う。	リサイクル清掃課	
					決算	149	実績数	6,000 部							100.0%
							申込数	—							
20			わかりやすい ホームページの 構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行う。	予算	376,200	当初予定数 (定員等)	—	—	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	行政に関する用語や人名等、適時、個別に単語として登録しており、翻訳の理解できない等の声は寄せられていない。	今後、外国人来訪者の増加を見込み、一層の翻訳精度の向上と新たな対応言語の選定。	引き続き、翻訳精度の向上を図っていく。	広報課	
					決算	356,400	実績数	—							
							申込数	—							

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)			参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数	申込数						
21	72		わかりやすいま ちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進める。	予算	3,058	当初予定数 (定員等)	5,000 部	—	—	平成31年4月版の、英語版Bーぐるルートマップを5,000部作成し、配付した。	主要な観光スポットに英語版のBーぐるマップを配付したことで、訪日外国人等の区内観光の利便性向上とBーぐるの利用促進が図られた。	令和3年度にBーぐるの新規路線が開通する予定であり、それに対応した英語版Bーぐるマップを作成する必要がある。	英語版Bーぐるマップを効果的に活用してもらえるよう、三路線分に対応したマップの内容を考案する。また、新規路線沿線の配付場所・配布部数を検討する。	区民課
					決算	2,640	実績数	5,000 部	100.0%						
							申込数	—	—						
22	72		防災対策での多 言語対応	防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進める。	予算	8,400	当初予定数 (定員等)	11,000 部	—	—	・防災パンフレット(令和2年3月発行) ・土砂災害ハザードマップ(令和2年3月発行) ・水害ハザードマップ(令和元年9月発行) ・洪水ハザードマップ(令和元年9月発行) 【配付場所】 防災課、地域活動センター、図書館など	防災啓発パンフレットの配付により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の啓発が行えた。また、各ハザードマップを多言語化し、周知を行った。	外国人避難者へ災害時における行動等について、より分かりやすい周知を行う。	作成したパンフレット等について周知を行うとともに、より分かりやすくするため、パンフレット等の構成を工夫していく。また、災害時専門ボランティア制度の周知により進め、登録者を増やすとともに、訓練を通じた外国人避難者への避難所の周知等、新たな取組を検討する。	防災課
					決算	7,480	実績数	11,000 部	100.0%						
							申込数	—	—						